

令和4年度 園評価（学校園関係者評価シート）

加古川市立やまで幼稚園

- 1 教育目標 「心弾ませ、いきいきと生活し、共に育ち合う子」
- 2 指導目標 (1) 健康で 明るい子
(2) たくましく 意欲をもって行動する子
(3) 心あたたかく 思いやりのある子
(4) 豊かに感じ 表現する子

3 今年度の実践目標

- *生活リズムを整え、自他の命を大切にしながら、健康や安全に気をつける。
*豊かな体験活動を通して、感じたことや考えたことを素直に表現する。
*家庭・地域と連携を図り、教育力の向上に努める。
*職員の資質向上を図る。

4 達成状況（A達成している B概ね達成している Cあまり達成していない D達成していない）

実践目標	◎評価項目 ・評価の観点	園としての評価と課題	園としての達成状況	学校園関係者評価	関係者評価の達成状況
生活リズムを整え、自他の命を大切にしながら、健康や安全に気をつける	◎すすんであいさつをする。 ・友達や先生、保護者・地域の方にもあいさつする。	・積極的にできている子は多いが、地域の方という部分が難しい。あいさつデーに、子供も参加してよいのでは。	A	・小学校でも挨拶をしない子があり、あいさつデーにぜひ園児も参加させてほしい。 ・地域も子供との触れ合いが楽しみである。	A
	◎身体を十分に動かして遊ぶ。 ・戸外で元気に遊んでいる。	・戸外遊びを率先する異年齢児の姿から、遊びを考えようとする子供が増えてきた。	B	・最近、子供たちの体力低下が言われているので、増えてきたのは良いことだと思う。	A
	◎交通ルールを守り、健康に気をつける。 ・健康に気をつけ、できるだけ徒歩で登降園する。	・寒さに負けず徒歩通園できるように、時折声掛けが必要である。	B	・小学校に向けて、歩けるようになるように応援したい。	B
	◎安全に心がけるとともに、自他の命を大切にできる。 ・安全、危険かの判断が出来、自分の身は自分で守るとともに、自他の命の大切さに気づく。 ・避難訓練、防犯訓練をする。	・避難訓練や防災訓練を通して、命の大切さに気付いたり、命を守る方法を知ったりすることができるようにしている。 ・避難の仕方を理解し、素早く行動ができている。	B	・訓練もきちんとできていて、良いことだと思う。	B
	◎集団生活の決まりや約束を守る。 ・友達と協力をしながら生活することで、集団での約束など大切なことを身につけさせる。	・友達と過ごす楽しさを味わったうえで、互いを思いやる気持ちの育ちを感じる。 ・ふざけると守れなくなることもある。	B	・少しずつ周りも見られるようになると思うので、じっくり育ててほしい。	B
豊かな体験活動を通して、感じたことや考えたことを素直に表現する	◎身近な自然の事象や数量にも関心を持つ。 ・自然との関わりに興味関心を持つ。 ・身近な自然に興味を持ち、自ら関心を持ち調べようとする。	・当園ならではの植物の育成や自然現象、生き物に興味を持ち、クラスで共有できた。 ・自ら関心を持ち、調べようとしている時もあった。	B	・園内で野菜、花などを植えたり、生き物を観察したり、とても良いことと思う。 ・植えた野菜を持って帰るところが良い。 ・良い環境で育まれていると感じる。	A
	◎友達の気づきに影響を受け、より高まることができる。 ・友達の話に心を傾けて聞くとともに、自らも言葉によって気持ちを伝えようとする。	・少人数な分、友達の遊びや気持ちがわかりやすく、個々が発言する機会も多い。 ・普段から話し合う場を作り、教師が仲介することも大事である。	B	・馴れ合いにならず、共感力をはぐくんできると感じる。 ・家庭環境により言葉遣いの違いがあり、言葉遣いの善悪についての指導を願いたい。	B
	◎見たこと、感じたことを色々な方法で表現する。 ・言葉や身体、絵画などで表現する。	・自然現象や行事の体験等、子供が心動かした経験は、即表現活動に移行し、保育内容を充実させている。	A	・造形展を見て、クラス全員で一つの物を作り上げることが素晴らしいと思った。 ・生活発表会での顔や表現が素晴らしい。	A
家庭や地域と連携を図り、教育力の向上に努める	◎地域との連携やユニットの活動を推進する。 ・あいさつ運動など様々な交流を通して、地域の教育力を取り入れる。	・あいさつデーの取り組みがPTA 役員に一人となり、園全体として浸透していない。 ・地域の方との交流が、まだ難しい。	B	・園区が広いこともあり、地域との交流は難しいかもしれない。 ・コロナ前の交流を知らない。	B
	◎家庭の教育力の向上に努める。 ・ふれあい保育等をとおして、子育て支援や家庭の教育力の向上に努める。	・ふれあい保育の参加者が少なく、保護者同士の情報交換等もしにくいのでは。 ・個人懇談会を年間2回にしたことにより、家庭との連携をさらに深められた。	B	・コロナの影響もあると思うので、次年度に期待したい。 ・ふれあい保育自体、どんなものかわかっていない方が多いのではないかと。SNS等で、幼稚園から発信してはどうだろうか。	B
職員の資質向上を図る	◎職員研修を充実する。 ・気になる幼児を中心に、一人一人の内面理解を行い、適切な支援をする。 ・研修に参加後は必ず報告を行い、保育に活かしていく。 ・園内研修を充実させ、教師間の連携や、幼稚園として進むべき方向性を共通理解する。	・互いの研修報告を、しっかり出し合う余裕がなかった。他の学年のことについて、全員が自分のこととしてとらえるべき。 ・気になる園児の情報交換はある程度できたが、普段の様子をもっと発信して共通理解してもよかった。 ・保護者との信頼関係の築き方、対応の仕方等についても学びたい。	B	・コロナにより、その対策等でやらなければいけなかったことが多かったのでは。来年度は、もう少しやりやすくなるかもわからない。	B

